

No.57 熊 広 報

平成 28 年 12 月 15 日
熊地区広報発行委員会
発行責任者
地区長 竹中 兼利
公民館長 三浦喜代次

第二十一回熊地区文化展

実行委員長 竹中 兼利

十一月五日(土)・六日(日)の二日間
第二十一回熊地区文化展が開催されま
した。

今年も多くの作品が飾られ、観覧者の
目を楽しませてくれました。絵画・書・写
真・手芸・工芸・生け花などの力作が多
数出品され熊地区の文化の高さが強く
感じられました。

子どもの作品はポスターや習字が多く、
この文化展を続けて行けることを強く感
じました。

熊地区の文化展には国会議員の大西
健介様、刈谷西部の地区長様や中部地
区長・公民館長様も観覧されました。今
年も泉田から参観にみえ、熊地区の水
準の高さに感心されていました。恒例と
なっているお茶の接待は評判がよく抹茶
とお菓子があつており、気持ちさが落ち着



作品を鑑賞する



竹細工で遊ぶ



お値打ち野菜の販売

くとのことでした。

お手伝いの子どもたちも
真剣にお茶の接待をして
くれました。

外のテントでは婦人会に

よる団子販売が行われ、おいしいにおい
が漂い、作品鑑賞を終わって休む人やこ
れから作品鑑賞をする人の話がはずん
でにぎやかでした。

営農組合の皆さんが丹精込めて育て
た野菜や果物、お花などが廉価で販売
され、野菜の高騰のおりから売れ行きが
よかったです。

ほかにも手芸作品の販売や、バルーン
アートを楽しんだり、竹鉄砲やペットボ
トルの風車で遊んだり多くのコーナー
が設けられ、それぞれに楽しんでいまし
た。

また、今年は竹燈りの会の皆さんが作
成した新作万燈の「暫く」が、会場を飾っ
ていました。

好天に恵まれ青空のもとで開催でき、
盛会であつたことを喜んでいます。

こうした文化展ができますのは準備か
ら接待にご尽力くださいましたみなさん
のお力の賜物と心から感謝いたしております。

文化展に参加して

赤十字奉仕団 浅川 久美子

十一月五・六日と熊地区文化展に赤

十字奉仕団として、炊出しに参加しまし
た。両日とも好天気に恵まれ、来られた
方々が帰りに豚汁をおいしく頂いている
のを見て良かったと思いました。



頑張った豚汁作り

私たち奉
仕団は突
然の災害
にそなえ
ハソリ(大
鍋)で豚
汁を作るこ

の経験をおまえながら、今回もハソリで2
鍋作るといふ活動をしました。前日に各
自材料を持ち帰り、当日きざんだ材料
を鍋に投入。私は今年初めての参加でし
たが、他の奉仕団員の手際の良さに感心
しながら、怪我もなく無事終了してほっ
としていま

す。皆さん
ご賞味いた
だけたでし
ようか？



舌づつみをうつ来館者

竹細工コーナーより

孤軍奮闘の林さん

三浦 洋治

今年の竹細工スタッフに欠員が出来て
しまったので宝町の林さんに協力を願
いして、ペットボトル風車と缶ビール風車
の作製と展示を行いました。例年の様に
竹細工は竹鉄砲と高橋さんの小鳥笛で
あそびました。ペットボトルの風車がくる
くる回り、缶ビール風車はキラキラ回っ
て来場者の目を引き付け、そのおかげで
竹細工コーナーはさびしい限りでした。
午後からはお子さん達が寄つてきてくれ
ました。竹鉄砲で風船に命中させ、景品
のうまい棒をゲット！品切れになつてし
まいました。林さんの方は昔ギヤル、昔ボ
ーイで終日盛況でした。今年は天気に恵
まれ無事役目をおえる事ができました。
これから、あちこちでペットボトル風車が
庭や畑で、缶ビール風車が軒下で回って
いる風景を想像すると嬉しく思えてきま
す。林さんに感謝！感謝！でした。



竹鉄砲で遊ぶ

作品介绍



子ども会

がんばったお茶運び

六年 高橋 華代

私は十一月六日に、文化展でお茶出しをしました。最初の方は少しきんちょうしましたが、慣れてくるとふくさの向きや、お茶わんの向きなどにも気を遣って運ぶことが出来ました。
この他にも、机におく花を生けたりしてお客さんに喜んでいただくことができて、よかったです。と思いました。



きんちょうしたお茶出し

すもうで、ぎんメダルをもらったよ

二年 ひらいで みさき

十一月五日、アイシンの体育かんで子ども会すもう大会がありました。
こ人せんでは、まけてくやしかったけれど、だん体せんは、みんなでかちすすんでけつしようせんまですすめました。れんしゅうもとても楽しかったので、来年も出しようして、ゆうしようを目ざしたいです。



文化展に華を添えた
賞状とトロフィー

婦人会

婦人会広報 吉永 万莉

待ちに待った文化展。今年は、「いつまでも美しい花」と言われているプリザーブドフラワーを出品しました。岸野美代子さんのご指導のもと、花の色合いを考えながら組み合わせ、真剣な眼差しで作品作りに取り組みました。完成すると、それぞれに個性が光り、花の美しさに魅了されたひと時となりました。

また、毎年恒例の「みたらし団子屋さん」では、二日間二千本の団子を焼きました。風もあり寒い中でしたが、お客さんが美味しそうに食べる姿を見て、心が温かくなりました。おかげさまで完売！地域の皆様と交流しながら楽しく過ごせた二日間に感謝です。ありがとうございました。



美味しい団子はいかがですか？

文化展を終えて

公民館長 三浦 喜代次

銀杏の葉の色づき始めた、十一月五日六日の両日熊市民館にて恒例の文化展を開催いたしました。

両日とも天候に恵まれ五〇〇人を超える多くの皆様方にご来場いただきました。又展示作品も一五〇余点の出品をいただきましたありがとうございます。

本年は特に身近な廃物を利用した創作品が目玉をひいていました。

・一点目はお地藏様とかすみ草

お地藏様の身体はハミング洗剤の空箱、お顔は新聞紙、帽子はどんべえうどんの空容器、前掛けには端切れを使用。

かすみ草は枝に黒竹の小枝、花は紙粘土、鉢はダンボール箱に黒色のしゅろ網を巻いたそうです。制作者は長年体調が優れず「リハビリ」と回復を願って作りましたとおっしゃっていました。

・二点目は。ベトボトルや

アルミ缶で作った「かざ車」

子どもの工作用にと準備したコーナーでしたが、お子さんそつちのけでお父さん達が座り込んで熱心に手ほどきを受けていました。かざ車の回る様は、小春日和の微笑ましい光景でした。

他にだんご・豚汁・野菜・お抹茶・生け花・菊・手芸品・バルンアート・竹細工・万燈の展示などがあり、地域の皆様方と取り組んだ文化展でした。

老壮会だより

老壮会 会長 村井 修治

・大衆演劇に魅せられて

十一月一日秋の親睦旅行を三河温泉海遊亭で行いました。第一部は大衆演劇・涙と笑いの芝居を楽しみ、昼食宴会はカラオケで楽しみ、第二部は迫力満点の豪華舞踊・歌謡ショーで楽しみました。今回は、今迄と趣向を変えた親睦旅行でしたが参加者からは、初めて大衆演劇が観賞でき、しかも、近くでゆつたりでき「よかった、たまにはこういった企画もいいね」と言っていただけでした。

・「交通安全川柳」 優秀賞受賞

刈谷警察署募集の高齢者が考える「交通安全川柳」に老壮会として応募した代表作品が優秀賞に選ばれました。老壮会の代表作品は募集開始から四年連続の受賞となりました。

代表作品 作者 村井 修治

『怖いのは 慣れた道です
気のゆるみ』

十二月二日刈谷警察署で表彰式があり、表彰状を受けました。
尚、優秀作品十二句は、交通安全川柳特集とした、平成二十九年のカレンダーに掲載されます。

熊野神社だより

氏子総代会 会長 村井 敏光

熊野神社「秋の大祭」は、前夜から早朝までの雨で、お神輿巡行は取り止めましたが、午前十時前から雨も上がり、大祭式典、神輿・厄年お祓い・餅投げと、多くの皆様方をお迎えして、盛大に執り行う事が出来有難うございました。

大祭前日には、老壮会、子ども会、宝町地区委員・班長さんの清掃奉仕、大祭当日には、パトロール隊、消防団等の多くの皆様方のご支援、ご協力のおかげで大祭を安全に無事終える事が出来ました。心より感謝いたしております。



【年末年始行事・準備日程】

・しめ縄づくり 十二月十七日(土)
・門松づくり 十二月二十六日(月)
・しめ縄飾り付け 十二月三十日(金)
・大祓い式 十二月三十一日(土)
・初詣・歳旦祭 一月一日(日)
ご都合の良い方は是非ご参加下さい。
初詣は、熊野神社にご家族揃ってお詣りください。お越しをお待ちしております。

熊地区の歴史 その二

熊郷土史研究会 竹中 兼利

江戸時代初期には『三河二葉松』に「熊村 磯」と書かれているようにまだ西は海が広がっていました。また『三河堤』には、知多半島と船で往来があり安養寺下には土場(船着場)があったといえます。

安養寺の山号を海上山というのも海が近かったことをあらわしています。

元禄四年(1691)に未浜新田が築かれ、天明六年(1786)に新々田が築かれると尾張との海上交通がなくなりました。

『天保郷帳』によれば村高五百十石であり、城下役四ヶ村といって元刈谷・刈谷・高津波とともに池鯉鮒宿(知立)の助郷が免除され、城の修理や夫役等を受け持っていました。



明治二十二年(1889)十一月一日から明治三十九年(1906)までの市町村制により高津波村と合併して碧海郡逢妻村大字熊となりました。熊野神社の忠魂碑には逢妻村の文字が刻まれています。明治三十九年の市町村合併により碧海郡刈谷町大字熊となりました。

防災ワークショップを終えて

自主防災会 副会長 近藤 輝和

十一月十九日、豊田自動織機さんのご協力で、防災図上演習(DIG)の第一人者の宮本英治先生をお招きして、防災ワークショップを開催いたしました。

DIGの前に、豊田自動織機さんによる防災への取り組みの発表がありました。大災害が発生した時、「体育センターを避難所として無償で地域住民に提供します」のお話に、ほっとしましたね。

地域住民のために、三日分の食料と水、寝具としてマットと毛布の備蓄、マンホールトイレが25基備えられ、ソーラ照明と屋内照明も整備されています。また、「避難所運営と一緒にやっていきましよう」とのこと。織機さんと熊地区の絆の深さを感じることができました。

阪神大震災を事例に、とても貴重な講義をされた災害対策研究会代表の宮本英治先生のお話をお聞きし、自助と互助の大切さを再認識させられました。

各グループに分かれての防災図上演習。真剣に、楽しく活動する中で、自分が住む町のいい所、心配な所が浮きぼりにされました。DIGの合言葉である、「人を知り、町を知り、災害を知る」を、少し学べたかなと思います。

要支援者を配慮した避難所の運営のあり方、地区防災と行政の連携のあり方を始め、多くの示唆を頂きました。熊地区の防災活動に生かしていこうと思います。

熊地区で活躍の推進委員の皆さん

「青少年育成市民運動地域推進員」

大霜 豊勝

青少年推進員の主な仕事は、子供を非行から守ることです。

そのため学校、地域行事に参加し子供たちと交流を深めています。又アピタでチラシを配り、市民の皆さんにも協力をお願いしています。

年一回の研修視察、講演会を年間十五回〜十八回開催しております。

副会長を六年間勤め、各地区の役員との情報交換などをし、活動しています。この先も地域の方々の協力を得て、刈谷市が安心して生活ができる場になるよう願っています。

「スポーツ推進委員」

東 義和

刈谷市スポーツ推進委員の東です。

刈谷市の目標の「めざせ！一市民一スポーツ」を目指し、明るくスポーツを楽しんで頂くため、ふれあいDayでのニュースポーツや、ノルデックウオー・GoGoウオーキングなどを、地域みなさんにお知らせし、参加を促しています。月数回、イベントの開催を熊地区の回覧板、公民館掲示ポスター等でご参照頂き、ニュースポーツを楽しみ、ストレス、認知症等を予防して健康な毎日が送れるよう、参加して頂きたいものです。



「保健推進委員」

伊藤 知子

保健推進委員とは、みなさんの健康を守るために、刈谷市が作った制度で、各地区の婦人会役員経験者が、一年間の講習ののち、「推進員」に任命されて健康促進の活動をしています。熊地区は西部・中部地区と合同で「運動教室(健康体检)」「栄養教室(料理実習)」「歩け歩け運動」の3種類の行事を計画・実施しています。

各種の行事は回覧板でご案内いたしますので、健康寿命を延ばすためにも、ぜひご参加下さい。皆様のおいでをお待ちしております。



熊でしこ会だより

代表 藤田 政夫

今年も、木々の色が赤く染まり来る秋の中、十一月五・六日熊地区文化展にて、なでしこ会のテントでは、赤十字奉仕団炊出しの豚汁で、参加者になでしこ会で接待させて頂きました。コーヒー・柿など飲み食いしながら、文化展の多彩な作品を誉めながら、楽しく笑い、地域の良きコミュニティの場でした。十二月になごやか交流会を開催しますので、多くの方々のご参加をお待ちしています。

刈谷市消防団第四分団より

分団長 磯村 尚樹

はじめに、日々の消防団活動に於きまして地区の皆様が多なるご理解とご支援を頂き、厚く御礼申し上げます。

十月十一月、私達第四分団は防災、警備、訓練を中心に活動を行いました。

十月九日に熊野神社に秋の大祭の警備を行いました。

十月三十日は午前と午後一日活動をしました。秋季訓練、宝町自主防災訓練、消防署でホースの使用試験を行い、団員達は、ポンプ車の運転技術の向上、無線機の使用方法、自主防災消火班のサポートを行いました。

十一月十三日は午後から八幡町の自主防災訓練に参加し、私達はポンプ車で八幡町内を巡回しました。自主防災終了後、熊地区全体を巡回しました。

十一月、我々第四分団は、防火、防災中心に活動しましたが、団員数が少なく消防団活動に苦慮している状態です。今より団員が増えれば、今以上の活動が出来ると思っています。我々第四分団は、常時団員を募集しています。年齢は十八歳以上の男性、女性の方々を募集しています。

(連絡先 090-4112-7997 磯村)

最後に、空気の乾燥している時期です。火の元には十分に注意してください。